

パブリックコメント実施結果報告書

平成30年4月5日

担当課	交通政策課
担当者	宮邊 圭太
連絡先	7641

意見公募のテーマ：鳥取県中部地域公共交通網形成計画（案）について

①手段別意見応募件数

郵便	ファックス	電子メール	県民課〇総合事務所等へ	その他の方法	計
( )	20 (8)	12 (3)	10 (3)	4 (1)	46 (15)

②応募意見の政策案等への反映状況

対応状況	件数	主な意見
反映した	7件	<p>〇4月にフィギアミュージアムが開館するが、倉吉市内から北栄町の青山剛昌ふるさと館との行き来に路線バスが使えるようにしてほしい。</p> <p>〇バス路線を延長することで河北地域へのバスの乗り入れを検討してはどうか</p> <p>〇小学生から路線バスへの関心、愛着を持てるよう、公共交通の存在、役割や課題について考える機会を積極的につくっていくため、路線バスを使つての校外学習の実施や、車両や路線の愛称、キャラクターづくり等を行つてはどうか。</p> <p>〇利用促進のPRを行う際にはターゲットを絞つた（バス路線沿線の住民など）周知方法が有効ではないか。</p> <p>〇地域のイベントを行う際には積極的に公共交通の利用を呼びかけるべき。</p> <p>〇公共交通への意識を高める意味でも、地元大学等と連携した取り組みが有効ではないか。</p> <p>〇倉吉総合産業高校においては路線が駅で終点になるため、長い距離を徒歩か自転車で移動しており、駅からの移動時間を入れると早い便に乗るべきだが、本数の少ない間金便では1本早く乗ることが難しく、その結果自家用車で送る日も多くあったので駅から学校までの路線の延長があると良い。</p>
既に盛り込み済み	25件	<p>〇高齢者はバス停まで歩くのが大変なのでドアツードアのタクシーの方が利用しやすい。</p> <p>〇人の乗っていないバスを走らせるのではなく、利用者の料金を下げるためタクシー助成をしてもらった方が良い</p> <p>〇今の時刻表で大型を走らせていても使わなくなり、乗り手のニーズには合っていないのだとすると、小型化できめ細かくという方向に転換していくのではないか。</p> <p>〇今後、高齢化社会となり、免許返納する人も増える。高齢者にはバスの段差は厳しいので低床バスの導入を進めてほしい。</p> <p>〇運転免許証自主返納者への支援制度は更に充実させてほしい。</p> <p>〇足腰が不自由な高齢者のためノンステップバスをもっと導入してほしい。</p> <p>〇敬老乗車証の発行を希望。</p> <p>〇鉄道、バスの利用者の便のためにICカードの導入について検討してほしい。</p> <p>〇ICカードの導入を検討してほしい</p> <p>〇ICカードの導入は、初期費用が多かかると思われるが、最近では、コンビニ等日常生活でも電子マネーが普及しており、また、都市部や外国人旅行者の利便性を踏まえ、導入に向けて検討していくべき。</p> <p>〇バスは行く先がわからない、いつバスが来るのかわからない等の問題がある。今、バスネットがあるが、さらにこのシステムの周知が必要。</p> <p>〇スマホ等でバスの現在位置がわかるようなアプリの開発をしてほしい</p> <p>〇近年商業施設が集積している河北地域にバスが走っていないのが気になっており、今後、高齢化が進み、自家用車が利用できる方ばかりではないので、バスの乗り入れの検討はぜひとも進めていただきたい。</p> <p>〇医療機関へのアクセスの利便性向上も重要。厚生病院へのアクセスについて距離的に近い正面玄関前バス停より、厚生病院前バス停を経由している路線が多いことは知らなかったため、ぜひとも改善をお願いしたい。</p> <p>〇中心市街地には県立美術館の建設も予定されており、完成に合わせた公共交通機関の利便性向上を図っていただきたい。</p> <p>〇利用者の減があり、生活交通以外にも観光客を取り込む必要がある。それには、観光地との連携を意識した路線が必要。</p> <p>〇海外の航空路線も増え、街に外国人旅行者を多く見る機会が増えてきた。観光地をつなぐ路線の改善は、そういった方の利便性を向上させるうえでも、進めていただきたい。</p> <p>〇移動はほとんど自家用車で、公共交通機関は出張や旅行の際に利用する列車や高速バス、飛行機程度だが、仕事柄、観光客と接することが多いので、観光客は満足しているのだろうか不便さを感じていないだろうか気になる。</p> <p>〇鳥取県中部地域公共交通網形成計画は観光・教育・医療・商業等、あらゆる角度から検討がなされていると思う。</p> <p>〇これから、高齢社会を迎えるにあたり、公的機関の役割は大きくなるため、中山間地区から教育・医療・商業の場に出かけることができること、公共交通空白地域をなくすこと、観光客が快適に観光できるバスルート等、これからの取り組みに成果がでることを期待。</p> <p>〇乗り換え接続の改善といったものも計画案にあげられているが、実態がよくわからないところもありますが、自家用車の利便性に慣れてしまい、乗り継いでまでバスを利用するという意識が県民の皆さんには薄いのではないかと感じる。意外と便利にバスが利用できるという、実用性即したPRも必要。</p> <p>〇自家用車を利用する側もいつかは交通弱者になる可能性があり、利用しなければ地域の足がなくなってしまう可能性があるという危機感を県民みなさんに共有してもらうためのPRも必要。</p> <p>〇子育て支援バスなどが利用できるバスがあっても良い</p> <p>〇倉吉駅付近の駐車場が不足しており深刻な問題だと考える。</p> <p>〇倉吉市中心市街地内の路線充実賛成</p> <p>〇中山間地は年々人口が減少しており、通常の路線バスでは非効率であることから、地域の実情に応じた運行が必要。</p>
今後の検討課題	5件	<p>〇最終バスの時刻が早すぎる。</p> <p>〇市内料金一律にしてほしい</p> <p>〇市内は一律料金にしてほしい。</p> <p>〇県立美術館ができるまでには市内循環バスが必要</p> <p>〇倉吉市では100円バスが運行されていないが、車社会とは言え、今後更に高齢化が進むなか、運転のできなくなった老人達の不便さを考えた場合、特に過疎化の進んだ地域では、100円バスは非常に有効なのではと考える。</p> <p>〇一度、試行したが利用者が少なく運用は見送られたと聞いているが、その時の運行コース、時間帯、観光客のターゲットなどの条件は、地域、時代に見合ったものだったのか。</p>
対応できない		
その他	9件	<p>〇最近倉吉市内に新たな拠点が整備されたり、企業が進出されたりしており、そのような中、バス路線の見直しを検討されていることは時機に合ったことであると評価。</p> <p>〇パブリックコメントで住民の意見を聞くことはよいことだが、大方の場合それぞれ相違するもの、あるいは我田引水的な意見も出てくることと推察。</p> <p>〇きちんとした説明をすることはもちろん、例え意に沿わないという意見が出された場合であっても、地域(住民)にとって将来に禍根を残さない形で目指すべき計画を推進し、実現していただきたいと望む。</p> <p>〇倉吉市の一番の観光地といえば「赤瓦」と思うが、この辺りは歩いて観光する人が多い場所にも関わらず一般車両も通行できる。県外の観光地などでは、観光客が歩く道路では車の規制があるところが多い。また、赤瓦の隣接するバス通りは昼間でもわりと交通量が多い通りだが、バス停付近の歩道が狭いので歩行者は非常に危険だと感じる。については、観光地付近においては、歩道は広げる、観光コースのあるエリア付近では一般車両は通行できないようにするなどの配慮が必要と考える。</p> <p>計画については、内容のあるものと評価、実行性の確保が今後のポイントであると思う。</p> <p>〇山陰本線倉吉駅を高架駅（橋上駅ではない）にして小田地区から長和地区付近まで線路高架に変更してはどうか。</p> <p>〇倉吉の道路網について、山陰道から天神川付近にJCTをつくり、厚生病院、未来中心、新県立美術館までを信号機、交差点のない4車線道路で国道179号へつないでどうか。</p> <p>〇県内に一か所、陰陽を継ぐトンネルとして、例えばR179号に三朝町穴鴨付近から岡山県奥津当たりの大型トンネルで陰陽の峠難所を解消することはできないか。</p> <p>〇倉吉東高校の生徒は塾に多く通っているが、終了時間の9時過ぎにバスは無いので、間金から迎えに行っていた。塾以外も含めると間金から上灘地区へ週3回以上夜間に出向くことになり、負担は大きい。</p> <p>〇夜間は利用時間がまちまちで利用者も少数なので、路線や運行時間の延長がそのまま利用促進につながるかどうかは不明で、逆に交通事業者職員の負担増になる可能性が高いが、今後少子化による生徒の減少は進む一方であるので、塾に通う生徒への対応としてスクールバス形式での運営はできないか。</p> <p>〇よくできており、特に意見はない</p> <p>〇特段の意見はない。</p>
計	46件	

③意見募集結果概要書を、1部添付してください。

他の公表方法として該当するものに〇を付けてください。

とりネット	報道機関への資料提供	県議会への報告	県民課等での縦覧等	広報誌等への掲載	その他
〇			〇		